

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			他、市の体育館など地域資源の活用をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			・基準配置数は満たしている。送迎や研修等で職員が抜ける際は同じ建物内の生活介護事業所から応援職員を手配し支援を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	25%		・設備基準は整っているが、状況により配慮を要するため、法人内の介護技術の研修を受講している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		・事業所のホームページで公開している。 ・それぞれの保護者の意見を反映していくためにスタッフ間で話し合いを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%			・法人、事業所として第三者評価を実施。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・所内研修や外部研修への参加・情報を得られている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・法人で定めたアセスメントシートに基づき、アセスメントを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・活動プログラム、立案実施に於いて、チーム内の意思共有は常に必要と捉えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・季節感のある活動、創作、音楽、運動やコミュニケーション活動等実施。 ・個々に応じた課題を利用児が分かりやすくするための提示方法など考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			・その時々課題を職員間で話し合い、活動や過ごし時間に反映させている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・業務日誌を使用し、毎日打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・振り返りからの改善点を明確にするよう改善に努める。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・6ヶ月ごとの中間、総括と見直しを行うほか、必要に応じて見直しを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			・下校時に担任教諭と情報共有、必要な時は保護者や学校ホームページからも情報収集をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			・医療的ケアが必要な子どもの受け入れは現在ないが、受け入れる際は保護者、医療との連絡体制を取れるようにしていく。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて幼稚園の見学等行い、情報収集に努める。 ・地域会議の機会を通じて積極的に情報共有等を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・要請があれば情報を提供等行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		100%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ニーズがあるのか考察しながら検討していきたい。 ・法人内の成人事業所との合同活動や交流の機会はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳、電話やメール等で状況を伝え、共通理解の機会を設定している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・必要と思われる保護者に対して行っている。 ・特定の支援方法は用いていないが、共通理解の場を通じて支援を行う。 ・必要に応じて法人内の専門医の相談を紹介している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・家族連絡会を年3回実施。今後はそれ以外でも交流できる機会を検討していく。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で相談・苦情委員会を設置している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		
	35	個人情報に十分注意しているか	100%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方も参加できる行事を行っている。見学もその都度行う。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・家族連絡会や放課後通信等で発信している。また、より保護者に分かり易い周知方法を考えていく。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に訓練を行っている。 	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・法人で定めた虐待防止マニュアルの振り返りを定期的に行っている。 	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者からヒアリングしている。 ・医師の指示書の提出の協力依頼は行っている。 	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・データで閲覧できるようになっている。 ・実際の内容から具体的な支援方法の周知を心掛けている。 	